

2023年度 製造請負優良適正事業者 認定事業者一覧(50音順)

2023年11月1日現在

株式会社アクティ	株式会社三幸コーポレーション	株式会社ビーネックスパートナーズ
株式会社アバンセコーポレーション	株式会社シグマテック	ビューテック株式会社
株式会社イカイインダストリー	株式会社ジャパンクリエイト	株式会社ヒューマンアイ
株式会社イカイコントラクト	株式会社セントラルサービス	株式会社平山
株式会社イカイプロダクト	株式会社総合プラント	フジアルテ株式会社
株式会社ウィルオブ・ワーク	株式会社塚腰サービス	株式会社フジワーク
株式会社ウィルテック	株式会社テクノクリエイティブ	マルアイユニティー株式会社
株式会社エイジェック	株式会社テクノスマイル	ミライク株式会社
株式会社イー・オー・シー	テクノレイク株式会社	UTエイム株式会社
株式会社カインズサービス	東洋ワーク株式会社	株式会社ワイズ
川相商事株式会社	株式会社トーコー	株式会社ワイズ関西
株式会社クリエイト	株式会社トータルマネジメントビジネス	株式会社ワークスタッフ
株式会社グロップジョイ	日総工産株式会社	株式会社ワールドインテック
サンヴァーテックス株式会社	株式会社日本ケイテム	
株式会社サンキョウテクノスタッフ	株式会社早川工業	

※認定の有効期間は3年間。更新審査あり。

過去の好事例は、パソコン・スマホから「GJ認定制度 好事例集」で検索！

GJ認定制度 好事例集

検索



製造請負優良適正事業者認定制度  
(GJ認定制度)

好事例集

[ 2023年度版 ]



制度の趣旨

認定制度は、「製造請負事業の適正化と雇用管理改善の推進」と「製造請負業界の市場競争の健全化」の2つを実現し、労働者の福祉の向上と発注者の製造業務の長期的な質的改善につながることを目的とし、厚生労働省が設けた制度です。適正な請負体制の推進、雇用管理の改善を実現するための管理体制・実施能力が認められた請負事業者を「優良適正事業者」として認定する制度です。

審査基準

経営方針	ものづくり力	ひとづくり力	労働者保護
<ol style="list-style-type: none"> <li>方針等の明示</li> <li>方針等の周知</li> <li>「非常時」の危機管理</li> <li>派遣と請負の区分基準関連</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>活動組織</li> <li>ものづくり力の具現化</li> <li>技能資格</li> <li>「事業所責任者」の配置</li> <li>「工程管理等責任者」の配置</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>「キャリアパス」の明示とキャリアコンサルティング</li> <li>職業能力開発</li> <li>能力評価</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>労働保険・社会保険の適用</li> <li>雇用関係の確保</li> <li>個人情報の保護体制</li> <li>労働安全衛生の取り組み</li> <li>ワークライフバランスへの配慮</li> <li>相談・苦情処理の体制</li> <li>法令の周知</li> </ol>

製造請負事業改善推進協議会

(事務局:一般社団法人 日本BPO協会)

CONTENTS

1	人材育成と成長	「現場力」で貢献、源泉となる人材のキャリアアップに全力 川相商事株式会社
3	コンプライアンス	「GJ認定」活用は「優良レベル」の水準を保持できる有効な手段 株式会社トーコー
5	安全衛生の徹底	「GJ認定」で製造請負の正しい物差しとレベル感を確認 東洋ワーク株式会社

好事例集について

これから認定を取得する事業者の参考となるよう、認定事業者の取組内容や工夫点、今後の課題などの紹介を行うとともに、認定取得による社内の変化や営業上のメリット、発注者からのポジティブな反応があった事例など認定取得による副次的効果を周知することで、認定制度の普及・啓発を推進する。

製造請負  
なんでも相談室

オープン!!



請負・派遣事業者、メーカー、スタッフの方、  
どなたでもお気軽にご相談ください。

直通電話

03-6809-1054

受付時間 9:00~17:45  
※土・日・国民の祝日を除く

FAX 03-6721-5362 kyogikai@yuryoukeoi.info

受託者事務局 一般社団法人 日本BPO協会

〒105-0004  
東京都港区新橋4-5-1  
アーバン新橋ビル9F

TEL 03-6721-5361  
FAX 03-6721-5362

専用公式サイト <https://yuryoukeoi.info/>



キッズ 人材育成と成長

「現場力」で貢献、  
源泉となる人材の  
キャリアアップに全力

社名

▶ 川相商事株式会社

本社 ▶ 大阪府

主な請負事業

▶ 家電製造、環境試験装置製造、自動車部品検査など

初回認定年度  
2012年

認定回数  
4回



発注企業と一体となれる請負に磨き  
社内スクール「創喜感塾」で向上意欲高まる

家電製造や梱包、物流をはじめ、医薬品/医療機器の安定性試験器の組立などの軽作業から、技術が求められる製造請負まで対応しています。大阪府と滋賀県を中心に地域密着型で運営しているのが特長です。リーマン・ショック前は拠点拡大を意識していましたが、一部産業だけでなく景気全体の急激な悪化という未曾有の経験をしたことで、事業構造のリスクの大きさを痛感。雇用を守ることを主眼に、発注企業と一体となれる請負に磨きをかけてきました。

ISO規格を取得する際にあらゆる整備を進めていたところ、「GJ認定」にも共通する点があると気づき、体制を総点検して認定取得に乗り出しました。弊社が最も注力しているのが、ものづくりの根幹となる人材育成です。「GJ認定」の柱にも「ひとづくり」が掲げられています。2008年に人材育成のプロジェクトを立ち上げ、非正規社員を対象にした研修に挑みました。当時は一般的にも非正規のキャリアアップの仕組みが体系化されていなかったため、独自に考案して練り上げましたが、なかなか社内に浸透しませんでした。

手法を改めて2010年に社内スクールとなる「創喜感塾(そうきかんどうじゅく)」を立ち上げたところ、これを契機に社員の意識が高まり、会社の支柱に育っていきました。弊社は、強い現場力で発注企業の躍進に貢献するため、現場力を生み出す源泉となる「人」にこだわって請負事業を展開しています。

「第一種衛生管理者試験」の合格が卒塾の要件  
コミュニケーションなど「ヒューマン・スキル」も重要な要素

「創喜感塾」は、請負現場の責任者・リーダーを養成する狙いがあり、非正規を正社員にすることも大きな目的です。管理者に求められるスキルを6カ月間のOJT(職場実習)とOFF-JT(座学研修)で学ぶ形式で、現場管理者として活躍できる正社員を数多く輩出しています。塾生はQCD(品質・コスト・納期)をはじめ、人員や勤怠管理、作業指導、帳票管理、月末締めといった事務作業に至るまで実地で訓練を受けます。OFF-JTでは、品質管理、効率改善といった生産管理全般を学びます。特に、安全衛生管理においては社内RSTトレーナーによる「職長等教育」を含め、「第一種衛生管理者試験」合格を卒塾の要件としているため、これらの学びにより幅広い知識を習得できます。

これら製造にかかわる「テクニカル・スキル」だけでなく、ビジネスマナーやコミュニケーションなど、管理者として備えておくべき「ヒューマン・スキル」についても多くの時間を割いています。週5日勤務のうち1日を塾に充てて実施するという本格的な仕組みだけに、理解も広がってきました。一般作業者にも、社内検定合格者を無期雇用に転換する社員制度を導入するなど、長期的な視野に立ったキャリア形成を実現しています。この取り組みは、助成金対象の教育制度となったほか、厚生労働省の「グッドキャリア企業アワード」で社内スクールの運営を柱とした非正規社員の正規転換推進が評価され、業界で初めてとなる大賞(厚生労働大臣表彰)を受賞しました。

01 社員の意欲向上を後押しするキャリアアップの制度を充実  
携わる仕事に役立つ最適な研修を実施

発注企業に満足してもらえる業務をこなすには、内勤社員と請負社員の両方の底上げが重要です。そのため、社員の意欲向上を後押しするキャリアアップの制度を充実させています。実のある研修制度によって、社員全体の働く意欲が高まり、高品質なサービスの提供につながります。まず、それぞれのステージで活躍する社員ごとに、携わる仕事に役立つ最適な研修を実施。受講することで、技術面や知識面でのスキルアップに加えて人間力アップにも役立ちます。正社員研修(管理者向け)では、自職場改善実習や品質管理入門、原価管理などを体得してもらい、知識習得と同時に実際の業務にもつなげます。



このほか、正社員研修(現場リーダー向け)や第一線の社員として積極的に業務に取り組んでいる人材を「SS職社員」と位置づけ、より専門的で高度なテクニカルスキルとヒューマンスキルが習得できる教育を実施しています。

02 発注企業に対してより信頼度の高いサービスを提供  
4つのケースに基づいて資格取得を支援

社員のさらなるキャリアアップを支援するため、資格取得支援制度を設けて運用しています。資格を取得することで、広範囲の業務に従事することが可能になり、発注企業に対してより信頼度の高いサービスを提供でき



ます。資格取得にかかる費用については受講料、受験料、手数料など、会社がすべて負担します。支援制度は①業務上取得しなければならない資格取得、業務上受けなければならない教育受講(フォークリフト、クレーン、玉掛け、派遣元責任者、防火管理者)、②会社が必要と判断し会社で取得を進める資格取得(第一種衛生管理者、QC検定3級)、③業務品質向上につながる資格取得(国家資格キャリアコンサルタント、産業用ロボット取扱い、社会保険労務士)、④自己啓発の一環として社員が取得、教育受講を希望するもの(QC検定2級、電気工事関連教育)——の4つのケースに基づいて実施しています。

03 障がい者の活躍は社会的意義、積極的に雇用  
存分に能力を発揮してもらえるカタチを構築

障がい者の活躍は、社会的に意義があると考えて積極的に雇用しており、法定雇用率を大きく超える環境で、ほとんど離職者を出すことなく貴重な戦力として働いてもらっています。「障がい者に優しい職場は、健常者にも優しい」をモットーに、すべての人に働きやすい職場環境づくりに挑んでいます。弊社が培ってきた高いサポート力のノウハウを生かし、2013年から本格始動。当初は、手探りで単純な作業や一部の限られた工程だけを任せることが大半でしたが、障がいを持つ仲間と一緒に工夫を重ねる中で、存分に能力を発揮してもらえるカタチを構築してきました。



環境面やコミュニケーションなど、適切な配慮をすれば障がい者は活躍できます。

Message

川相商事株式会社 代表取締役社長 川相 政幸

70余年におよぶ事業活動の中で、社会に必要とされる業務を適切に対応していくことに全力を挙げてきました。その根幹となる「ひとづくり」に精力を注いできたことが認められ、「グッドキャリア企業アワード大賞」や、滋賀県知事より「障害者雇用優良事業所」の表彰をいただきました。これからも働く人の物心両面の幸せを追求し、「働く喜びを感じる職場」づくりに真摯に取り組んで参ります。



所在地 ▶ 大阪府門真市三ツ島5丁目6番24号  
TEL ▶ 072-883-1241  
URL ▶ <https://www.kawai-g.com/>

きんぎょ コンプライアンス

「GJ認定」活用は  
「優良レベル」の水準を  
保持できる有効な手段

社名

▶ 株式会社トーコー

本社 ▶ 大阪府

主な請負事業

▶ 機械部品・組立・検査など

初回認定年度  
2014年

認定回数  
3回



労働法令に基づく製造請負の進め方を確認  
経験で培った独自の自主点検表に「GJ認定」の要素を肉付け

製造請負事業に参入して40年余り、発注企業と社員、そして地域から愛されるパートナー企業を目指して邁進してきました。機械部品の加工・組立や金属製品の検査、梱包などを主力に、関西エリアを中心に、関東エリア、新潟で日本の「ものづくり」の一翼を担っています。「GJ認定」は、労働法令に基づく製造請負の進め方や仕組みについて「優良レベル」の水準を保持できる有効な手段だと考え、2014年度に取得しました。請負現場だけでなく、会社の各間接部門が高い意識を共有して取り組むことができ、3年に1度の更新も総点検とブラッシュアップの観点から良い機会になっています。3度目の更新を迎えますが、認定取得のための現地審査や書類審査に対応する担当者を変えることで、後進を育てながら社内全体への更なる浸透を図っています。

「GJ認定」は、ものづくりの品質面において、やるべきポイントとやってはいけない要所を明確にチェックできるので、その基準を同じ目線ですべての請負現場に横展開できます。品質は、発注先の求めるレベルに対して均一であることが重要です。経験で培った独自の自主点検表に「GJ認定」の要素を肉付けし、精度の高い基準で品質を維持しています。

コンプライアンスは「選ばれる」前提条件  
労働人口減少の中で働きやすい職場づくりに注力

「トーコーはコンプライアンスも同業他社をリードしている」と評価されることを目指しています。コンプライアンスは「人と企業と地域社会から選ばれる不可欠な前提条件」との認識を会社全体で共有。法令に基づいた雇用管理の適正化やトラブルの防止、製造請負の適正な推進、社会保険への加入、個人情報の保護を基本線に、コンプライアンス重視の企業風土を大切にしています。発注企業が請負事業者を選定する際には、こうした方針と優良認定事業者であることを提案の中にしっかりと盛り込んでいます。

また、少子高齢化で若い人材の不足が続く中、各現場で従来の作業内容をもっと分かりやすく見直し、安全衛生にきめ細かな改善を施して、高齢者やあるいは障がいを持った人も十分に担うことができる仕組みをつくっています。経験の長い請負社員が熟練度を増していくと、新人や高齢者にはハードルが高くなり過ぎている可能性があるからです。入職時の敷居を和らげることで雇用が生まれます。こうした取り組みの一環になりますが、働きやすい職場の観点から身体の負荷を低減する人間工学(エルゴノミクス)を取り入れ、作業時の姿勢や適切な高さの踏み台、棚部置き場の位置の変更などを展開中です。

01 「監査部門」を設置して法令遵守の状況をチェック  
安心して業務を任せられるチーム力が製造請負の真髄



コンプライアンスを徹底するため、「監査部門」を設置して各部門・営業拠点の監査を定期的実施しています。法令遵守の状況をチェックし、結果を社長に報告の上、問題のある場合は改善を指導して是正。法務部門は日々の業務における契約書や決済書類のチェックのほか、法務相談の過程で顕在化したコンプライアンス上の問題解消や未然防止策を講じます。

個人情報保護においては、マニュアルに基づき教育を実施し、社員の意識向上を図っています。情報機器による個人情報の操作・保管は、権限を持つ社員のみが担当。入社前の教育で就業規則に記載された守秘義務を説明し、機密保持意識を高めています。安心して業務を任せられるチーム力が製造請負の真髄であり、モラル、技術力、マネジメント力の育成も含めて自社雇用で対応しています。

02 安全衛生活動計画に基づき業務上の災害防止  
「トーコーグループ安全の日」を設定して注意喚起

年間の安全衛生活動計画に基づき、現場に応じた活動を展開し、業務上災害の防止に努めています。災害の再発・未然防止に関する活動だけでなく、弊社と発注企業の安全配慮義務を意識した現場への改善に関する提案も実施。必要に応じて営業拠点や安全衛生専任部署からアドバイスをしています。営業拠点や作業現場ごとにリスクアセスメント、安全衛生パトロールといった業務における「5W1H」に基づいた具体的な安全衛生活動を策定。毎月20日を「トーコーグループ安全の日」に設定して、社員へ「安全ミニ通信」を配布するなど、定期的な啓蒙活動により安全意識の向上を推進しています。

また、健康管理の視点から各種健康診断の実施とフォローを行い、営業拠点・現場ごとに産業医を選任し、過重労働・メンタルヘルス等のケアを含め、心身の健康維持に努めています。



03 フォークリフトやクレーンなどの資格取得を支援  
「これまで」を振り返り、「これから」をサポート

雇入れ時の教育は完全実施で、以降のフォロー教育など弊社のオリジナル資料や教本を使用して、徹底した教育を実施しています。キャリア形成を図る目的で、フォークリフトやクレーンなどの資格取得を支援。日々の勤怠管理によって請負社員の成長を把握し、必要に応じて配置人員の見直しを行います。人数の多い作業現場には常駐の管理者を配置し、労務管理はもちろん作業手順の指導を含めた教育・指導全般を行っています。キャリアアッププラン研修の受講を希望する請負社員には、製造現場における基本知識とラインリーダーや工程管理者、現場管理者に求められる研修を実施しています。作業に必要な資格の取得を支援。一緒に「これまで」を振り返り、「これから」を考え、請負社員専用の相談窓口も設けています。



Message

株式会社トーコー 代表取締役社長 森 誉吉

一人ひとりが意欲的に働くことができる環境を提供することは、人が成長する土壌であり、現場での製造品質の向上という企業貢献に実を結びます。企業の発展に寄与することが私たちの何よりの望みであり、さらには地域・社会貢献という創業以来変わらぬトーコーの大きな使命へとつながっています。これからも、地域の製造業界を支える事業者として、現場の抱える課題を見つけだし、最適解を提案していきます。



所在地 ▶ 大阪府枚方市上島町12-20  
トーコービル  
TEL ▶ 072-866-5511  
URL ▶ <https://www.tkg.co.jp/>

安全衛生の徹底

# 「GJ認定」で 製造請負の正しい物差しと レベル感を確認

社名

▶ 東洋ワーク株式会社

本社 ▶ 宮城県

主な請負事業

▶ 食品製造・タイヤ製造など

初回認定年度  
2011年

認定回数  
4回



## 「GJ認定」で製造請負の「合格ライン」を確認 作業効率の改善を提案、「ものづくり」の能力を高める

本社を置く宮城県や山形県などで、食品製造や自動車タイヤの仕上げ作業を担っています。ものづくりの品質と人材育成の両輪がかみ合うことで製造請負の価値が高まるため、培った経験を生かして適正な運用に磨きをかけてきました。「GJ認定」は、「経営方針」「ひとづくり」「ものづくり」「労働者保護」の観点から製造請負の指針を明確に示しているため、自社の取り組みが基準を満たしているのチェックできるというメリットがあります。

「GJ認定」を取得していることで、労働関係法令に対する遵法精神をはじめ、請負社員のキャリアパスや労働安全衛生に注力している姿勢を堂々とPRできます。運営方法を定めた法律がないために「合格ライン」がどの辺にあるのか判断しにくいのですが、107のチェック項目がある「GJ認定」のおかげで事業運営の正しい物差しとレベル感を確認しています。

本社に請負現場を指導する推進部を設け、各拠点への伝達と現場からの問い合わせを日頃から密接に重ね、安定的な運営に努めています。発注企業と相互の納得感の中で、常に作業効率の改善を意識して提案し、「GJ認定」に沿ったカタチで評価しながら「ものづくり」の能力を高めています。

## 「オンリーワンの請負システム提案」を掲げて研鑽 自信と誇りを持って発注企業に改善を提案

優良認定事業者として、「オンリーワンの請負システム提案」を掲げて研鑽を積んでいます。国内の大手製造各社はグローバル化を進めていますが、自社とグループ会社のみで従業員を抱えて製品生産に傾注するのは、必ずしも得策とは言えません。景気や経営、製品などの変化に対して、スピードや柔軟性を持った動きが取りにくくなるからですが、弊社は単に労働力のサポートに留まらず、発注企業の業務を担うことで「適正化を一緒に叶えるパートナー」を目指しています。そのために必須となるコンプライアンスの精神は、「GJ認定」に裏打ちされています。

製造各社が抱える課題は、複雑化の一途を辿っています。そうした課題を解決していくのが請負事業者の使命であり、弊社は「ものづくり」と「ひとづくり」に励む中で構築した「技術力」「組織力」の提供を強みとしています。具体的には、即効性の高い請負形態として生産活動を工程（エリア）単位で請負う「工程請負」を推進しています。継続的に工程の充実を目指していけるとともに、将来的により高い効果が見込める「一括請負」へのステップアップも可能です。認定事業者である効果は有形無形に大きく、請負社員も会社の間接部門の社員も自信と誇りを持って発注企業に提案しています。

## 01 請負業務の確かな遂行には管理者の存在が重要 業務内容に合わせた教育とサポートを計画

請負業務の確かな遂行には管理者の存在が重要で、管理者の育成に注力しています。品質管理の知識を問う「QC検定」4級のレベルは作業員全員に教育し、管理者には3級取得が基本です。発注企業は製造現場への社員教育に投資しており、同様に製造請負の事業者である弊社も技術面はもちろん、生活面を含めた人材育成に取り組んでいます。「GJ認定」の審査項目にある「キャリアパスの明示」「職業能力開発」「能力評価」を指標としながら、3年ごとの認定更新の際に再確認して精度を高めています。

「ひとづくり」は良質なものづくりと営業効果に直結しているため、請負社員の目標や適正、業務内容に合わせた教育とサポートを計画し、OJTとOFF-JTを効果的に組み合わせて実施しています。



## 02 定期的な安全パトロールと現場ミーティング バラツキのない教育を推進して現場の5Sに磨き

労働者保護の一環として、職場の安全衛生は基本です。定期的な安全パトロールと月1回の現場ミーティングを重ねる中で、改善すべき点を洗い出しています。また、発注企業が工場で実施している安全衛生活動にも参加して、意識レベルを統一するよう心がけているほか、現場ごとに安全衛生のカレンダーをつくって実践し、危険箇所を予知して発注企業と連携しながら改善しています。

また、入職時における安全衛生教育も徹底しており、外部の教育訓練システムも導入しながらバラツキのない一定の教育を推進する中で、現場の5S（整理・整頓・清掃・清潔・しつけ）をブラッシュアップしています。衛生面では、会社自ら全従業員が心身ともに元気に働きつづけられるよう、健康の維持・増進のための職場環境づくり、健康づくりの支援を積極的に展開しています。



## 03 人口減少が加速する中、外国人の労働力は不可欠 外国人に不安やとまどいなく働いてもらう体制と環境



人口減少が加速する日本において、外国人の労働力は不可欠です。現場では技能実習生を迎え入れて、働く外国人と発注企業の双方に納得と喜びが得られる運営に努めています。外国人に不安やとまどいなく働いてもらうため、現場の注意書きや伝達などはその人の母国語も表示しているほか、内勤社員で外国人担当を決めて業務や生活での困りごとや質問を日頃から聞き取れる体制をとっています。

日本人の請負社員や内勤社員と交流するイベントも定期的開催し、意思疎通と信頼関係を高めて現場の作業が円滑に進むよう工夫しています。既に、現場のリーダー的存在として活躍する外国人も誕生し、互いに有益な流れができてきました。これからも外国人との共生社会の実現は重要と認識しており、日本のものづくりに欠くことのできない外国人材を安心できる環境で迎える努力を続けます。

## Message

東洋ワーク株式会社 代表取締役社長 菅原 正秀

CI(コーポレート・アイデンティティ)は「To You!」です。一緒に働いてくれるスタッフや、取引先企業、株主、社員、そして地域社会など、あらゆるステークホルダーに対して様々な「Work」(仕事)に関わっていく、東洋ワークのマインドが込められています。請負事業を単なるコスト削減の手段としてではなく、「遵法」「安全」「技術」「教育」の4つの指針を基に職場運営を実施し、広く社会とコミュニケーションをとり、透明性の高い事業運営を展開しています。

ToYo Work.

所在地 ▶ 仙台市青葉区国分町1丁目7番18号  
東洋ワークビル5F  
TEL ▶ 022-225-5052  
URL ▶ <https://www.toyowork.co.jp/>